

あがつま

『祈りによって、今ある』

牧師 稲垣 真実

吾妻教会は来年の5月に130周年を迎えます。その歩みが決して平坦な道のりではなかったことは、その歴史を少し紐解いただけでも窺い知ることが出来ます。しかしこの130年という月日は、あくまで結果でしかありません。設立された当初から、50年、100年、130年と教会を存続させることを目的としてきたことは一度も無かったはずだからです。草が伸びれば草を刈り、雪が積もれば除雪をするように、日曜日になれば礼拝を守る。そんな当たり前の営みを積み重ねた結果が130年という歲月です。草刈りがそうであるように、雪かきがそうであるように、当たり前が当たり前であり続けるその背後には、困難と労苦がつきまといまいます。

「小さな教会を支えたい」そう言って、安中教会に永く仕えておられた井殿園牧師は隠退後、この吾妻教会に通っておられました。井殿牧師は3年前に地上での務めを終え、天に召されましたが、「小さな教会を支えたい」と言う井殿牧師の祈りによって、私はいまこの吾妻の地に立たされているのだと感じています。吾妻教会は小さな教会です。会員数的にも、経済的にも、厳しさを抱えています。けれども教会の規模が小さいからといって、小さく縮こまる必要はありません。無力さを常に突きつけられているからこそ、開き直るしかないことを知っているからです。自らの内に頼りになるものを持たないからこそ、神さまにすべてを委ねるしか道がありません。

『恐れるな。語り続けよ。黙っているな。わたしがあなたと共にいる。だから、あなたを襲って危害を加える者はない。この町には、わたしの民が大勢いるからだ。』

使徒言行録 18章9節、10節

すべて世にある教会の使命。それはいつの時代にあっても新しい教会を生み出して行くことです。この吾妻教会も130年前の信徒たちの熱い祈りによって建てられました。厳しい現実には眼前に横たわっています。もはや目をそらすことも出来ないし、誤魔化しようもありません。「〇〇教会が廃止となった」。そんな話を耳にする度に、他人事ではないと不安を掻き立てられます。幾つもの教会がその役目に区切りをつけ、廃止されている時代に“新しい教会”を志すことは、あまりにも現実離れした夢想なのかもしれません。けれども、もとより何の力も持たないからこそ、わたしたちは無責任に大口を叩くことが出来ます。

群馬地区21教会。いつか群馬地区30教会、40教会と語られる。そんな日を夢見つつ、この小さな群れが新しい教会を生み出すために用いられることを祈りつつ、当たり前の営みを共に紡いで参りたいと願います。

日本キリスト教団 吾妻教会(創立 1889年5月7日)

〒377-0801 群馬県吾妻郡東吾妻町原町444-9

牧師 稲垣 真実

TEL 0279-68-4730 <http://agatsuch.ec-net.jp/>

～就任式の様子～

6月24日(日)、恵みのうちに牧師就任式を執り行うことができました。昨年1年間の無牧のときを経て4月に稲垣真実牧師を迎えましたが、式中の誓約にあたり、改めて牧師を与えられたこと



との幸せを感じるとともに教会員が心合わせて牧師の宣教の業を支えていかなければならない責任を覚えました。

式後の茶話会では、指方周一先生(昨年度の代務者)の尺八演奏に合わせて全員で聖歌を歌ったりするなど和やかな雰囲気の中に交わりのときを持つことができました。感謝します。

吾妻教会招聘委員長 望月栄一

飯塚拓也牧師(竜ヶ崎教会牧師、関東教区宣教委員長)の司式のもと、就任式が行われ、各地から多くの方が参列してくださいました。



群馬地区名物?川上盾牧師(前橋教会牧師、群馬地区長)によるギター弾き語り。



山口陽一牧師(東京基督教大学学長、吾妻教会第13代牧師)。



無牧師の吾妻教会を代務者として支えてくださった指方周一牧師。